

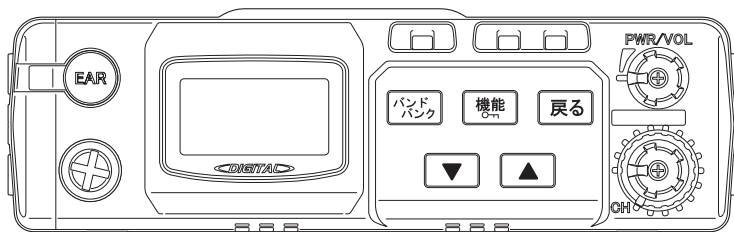
消防救急デジタル無線共通仕様書準拠

車載型受令機

DR-XF5N/CR

N：なし/CR：デジタル簡易無線ユニット内蔵
(総務省技術基準適合品)

取扱説明書



! **注意** 本書の公開や放置、不用意な
廃棄やコピーを禁ず。

本機の性能を十分に発揮させるために、本書を最後までお読みください。また、読み終えた後も必ず保管してください。補足シートや正誤表が入っている場合は、本書と合わせて保管してください。

※ DR-XF5CRは音声圧縮(符号化)方式 AMBE+2以外の無線機とは通話できません。

◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

| | |
|---------------------------------|----|
| 目次 | 2 |
| 使用前のご注意 | 4 |
| 安全上のご注意 | 6 |
| 1. 車載型受令機をお使いになる前に | 12 |
| 付属品の確認 | 12 |
| 付属品の取り付け方 | 13 |
| 電池を使用する場合 | 15 |
| 2. 各部の名前と機能 | 16 |
| 3. 基本操作 (DR-XF5N/CR) | 18 |
| 4. デジタル消防セットモード (DR-XF5N/CR) | 22 |
| デジタル簡易無線画面表示 | 23 |
| 受信設定 | 23 |
| 録音開始/停止 | 28 |
| 機能設定 | 28 |
| 履歴表示 | 31 |
| 情報表示 | 32 |
| デジタル簡易無線電源 | 32 |
| 5. 受信機能 (DR-XF5N/CR) | 33 |
| 音声受信 | 33 |
| ショートメッセージの受信 | 34 |
| 発信規制信号 | 35 |
| 6. 便利な機能 (DR-XF5N/CR) | 36 |
| チャンネルスキャン | 36 |
| キーロック | 37 |
| 電池残量アイコン | 37 |

| | |
|--------------------------|-----------|
| 7. デジタル簡易無線基本操作 | |
| (DR-XF5CR) | 38 |
| 8. デジタル簡易セットモード | |
| (DR-XF5CR) | 41 |
| デジタル消防無線画面表示..... | 42 |
| 送受信設定..... | 42 |
| SP/MIC 設定..... | 45 |
| サウンド設定..... | 46 |
| 画面自動切替..... | 47 |
| 9. デジタル簡易無線通信のご注意 | |
| (DR-XF5CR) | 48 |
| キャリアセンス..... | 48 |
| 送信時間制限装置..... | 48 |
| 通信の互換性について..... | 48 |
| 10. デジタル簡易無線の通信方法 | |
| (DR-XF5CR) | 49 |
| ユーザーコード通信..... | 49 |
| 個別通信..... | 51 |
| 秘話通信..... | 55 |
| 呼び出し用チャンネル CH15..... | 55 |
| 子機間通話禁止機能..... | 55 |
| 11. 保守・参考 | 56 |
| 故障とお考えになる前に..... | 56 |
| 12. 定格 | 58 |
| DR-XF5N/CR 共通..... | 58 |
| DR-XF5CR | 60 |

◆◆◆ 使用前のご注意 ◆◆◆

■分解しないでください

本機は調整済みです。使用者が調整できる箇所はありません。絶対に分解しないでください。

■ご使用上の注意

本機は一般向けのものではありません。不用意に第三者に消防・救急無線通信の内容を漏らしたり、知り得た情報を悪用したりすると、電波法第五十九条が定める通信の守秘義務に抵触して、罰せられる恐れがあります。本機が悪用されないよう、防犯管理には十分ご配慮ください。

■納入仕様について

本機は納入先に指定された内容に沿って、予め個別にプログラムされています。プログラムによって、受令機が本書に記載のない機能を備えている場合や、本書に記載している機能が受令機に備わっていない場合があります。納入元や製造元には、納入先の指示が無い限り、設定内容を変更する権限はありません。また、使用者自身が仕様を変更することはできません。

■受信可能な信号について

本製品は 260MHz 帯消防救急デジタル無線通信と特定小電力無線、従来のアナログ方式による消防救急無線通信の受信が可能です。DR-XF5CR ではデジタル簡易無線の送受信が可能です。

■温度仕様について

DR-XF5N/CR は -10℃～50℃間で使用してください。また、窓付近やダッシュボード上など、直射日光が当たる場所は 80℃以上になる場合があります。設置時には十分ご配慮ください。

| | |
|------|-------------------------------|
| 温度範囲 | 性能保証：-10℃～50℃ / 動作保証：-20℃～60℃ |
|------|-------------------------------|

■電波法上のご注意 (DR-XF5CR)

- ・デジタル簡易無線登録局を使用するには予め、登録・開設申請が必要になります。
- ・他局の通信を妨害したり、傍受した内容を他に漏らしたり、盗用することは法律で固く禁じられており、違反すると罰せられます。
- ・本機は日本国内の陸上でのみお使いになれます。海上、上空、海外での使用は違法となり罰せられます。
- ・他人への貸し出しには手続きが必要です。

■防滴・振動・衝撃に関する外郭保護について

車載型受令機は外郭保護等級 IPX2 規格の防滴相当品です。

防滴：上からしたたり落ちてくる水滴程度なら無線機本体にかかっても故障しない

本機は IPX2 相当の防滴性能がありますが、ゴムキャップや SP/MIC 端子のキャップをきちんと閉じていないと防水性能を保証できません。また完全防水構造ではありませんので流水や金属製・油性・酸や塩分・化学物質を含む等の特殊液体に対しては、この外郭保護性能は保証されません。このような物質で濡れたり汚れたりした時は、すぐに乾いた布で拭くなどのメンテナンスを心がけてください。部品に使われている素材は経年変化のために変質し、保護性能が低下します。外郭保護が非常に重要な場合は、定期的な保守点検をお勧めします。

車載型受令機のシールは絶対に剥がさないでください。防滴性能を保つために必要です。

このシールを覆うように別のシールなどを貼らないでください。

・外郭保護等級 IPX2 について

製品を 15° 傾けた状態で、200mm の位置から 3mm/min の水滴を落下させ、各位置で 2.5 分間ずつ、4 方向で計 10 分間試験を行ったあと、水による有害な影響がない防滴 II 形の保護等級。

振動や衝撃に関しては、下記のように JIS と米軍納入規格 MIL スペックに準拠した試験に合格していますが、本機を故意に乱暴に扱うことはお止めください。

・ JIS

- 衝撃：JIS C 60068-2-27
- 振動：JIS C 60068-2-6

・ MIL



- MIL-STD-810G または相当の下位規格
- Shock: Method 514.6/1,IV
- Vibration: Method 516.6/1



■DR-XF5CR でのデジタル簡易無線送信時のご注意

- ・ デジタル簡易無線を送信すると、本製品が受信中のデジタル消防無線やその他のチャンネルに妨害を与え、受信できなくなる場合があります。
- ・ 本製品に限らず、デジタル系の無線同士を近接して運用すると、アナログ無線よりも妨害が発生しやすくなります。デジタル消防無線の信号が弱い場所や、複数の車両が出動しているような現場ではデジタル簡易無線（携帯型も含め）による連絡は必要最小限、手短に行うようご配慮ください。

◆◆◆ 安全上のご注意 ◆◆◆

本機を正しく安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために必ずお読みください。誤った使い方で生じる内容を図記号と共に説明しています。その表示と意味は次の通りです。

| 表 示 | 表示の意味 |
|---|--|
|  警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

| 図記号 | 表示の意味 |
|---|----------------------|
|  | しなければならないことを告げるものです。 |
|  | してはいけないことを告げるものです。 |

天災や人災、不測の故障などで生じた損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。

**警告****■車載型受令機の取り扱いについて**

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。



DC ケーブル接続の際は、極性を間違えないように十分注意してください。感電や故障の原因となります。赤線がプラス (+) 極、黒線がマイナス (-) 極です。



この製品の電源端子からの定格入力電圧は DR-XF5N が 12 ~ 24V、DR-XF5CR が 12 ~ 16V となります。電池端子からの定格入力電圧は 7.2V(ニッケル水素単三充電電池)、9.0V(アルカリ単三乾電池) となります。定格以上の電圧が掛かると故障、火災、感電の原因となります。



電源ケーブルは必ず付属の物をお使いください。電源ケーブルを細くしたり、長く配線したり、可燃性の電源ケーブルを使ったりすると火災・感電・故障の原因となります。



運転中に操作したり、ディスプレイを見続けたりしないでください。このような行為は運転中の携帯電話使用と同様に危険です。受令機の操作は必ず安全な場所に停車してから行ってください。



防滴を保証する製品でも、別途ご説明したような制限があります。流水での洗浄、真水以外の液体との接触などは故障の原因となります。



本体やアダプター類を他の物で覆うような設置は避けてください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となることがあります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。



近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。特に電源ケーブルでショートしないようご注意ください。



電源ケーブルを加工したり、ヒューズホルダーを取り除いて使用することは絶対にお止めください。火災・感電・故障の原因となります。



警告

■使用環境・条件



万一、内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。これらが目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。また、その製品は必ず点検にお出してください。



万一、故障・誤動作などが原因で人命や財産が失われることがあっても、製造元及び販売元はその責任を負うものではありません。不具合を避けるため、定期的な保守点検を受けて頂くよう、お願いします。



電波環境や使用場所の状況などから通信できなかったことで発生した、逸失利益に対する責任は負いかねますのでご了承ください。



本機専用、又は弊社が認めたアクセサリ以外をご使用になって起きた不具合は、理由を問わず製品保証の対象外となります。



事前の許可なくこの製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。



航空機内、航空敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内などは、平時でも受令機を含む無線機器の使用が禁止されているところがありますので、ご配慮ください。



可燃性ガスの発生場所では、電源を入れないでください。引火・爆発の原因となります。本製品は防爆仕様ではありません。



電源ケーブルやアンテナ線などのコード類は、折り曲げたり、ねじったり、傷つけたり、加熱したりしないでください。故障の原因となります。



固定金具の装着などに、標準付属品以外のネジを使うとネジが基板を傷つけたり、しっかり固定できずに落下するなどして、怪我や故障の原因となります。純正ネジは補修部品として販売していますので、通信機器担当者様にご相談ください。

警告**■異常時の処置について**

以下のような異常が起きたら、まず、電源ケーブルや電池を外して電源供給を止めてください。その後すぐに通信機器担当者様にご相談ください。使用者様による分解や、修理を試みることは絶対にお止めください。



- 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- いつもと比べて異常な発熱を感じたとき
- 内部に液体や異物が入ったとき
- コード類が傷んだとき（芯線の露出や断線など）
- 外観に異常を見つけたとき



本製品は、雷に対する保護や性能保証は致しておりません。雷が接近している際は、なるべくAC電源は使用しないでください。また、可能な限り屋内や車内に待避するなど、雷害に対する注意を怠らないようご配慮ください。

注意**■車載型受令機の取り扱いについて**

アンテナや突起物が、目や鼻など傷付き易い部位に当たらない位置を選んで設置してください。



長期保管は、安全のため本体の電源を切り、電池を外して、電源ケーブルを抜いてください。



アンテナを持って本体を振り回したり、投げたりしないでください。けがや故障、破損の原因となります。



ツマミやキャップ、ネジ等を無理に外したり、回したりしないでください。故障の原因となります。



自動車やバイクなど比較的早い速度で移動する局との通信や、アンテナがブラブラ揺れるような状態で使用するとフェージングでエラーが発生して通話が安定しないことがあります。

これは走行中の車内でテレビを受信すると画面が乱れ、停車すると安定することがあるのと同じ電波伝搬上の理由によるもので、異常ではありません。



磁気カード類を無線機に近づけないでください。電磁波の影響でカードのデータが消去されることがありますが、補償は致しかねますので十分にご注意ください。



インバーター方式の電子機器やLED照明器具の周辺で使用すると電波障害を与えたり、受けたりする事がありますが、異常ではありません。



注意

■日常のお手入れについて



お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を切って、電池を取り外し、電源ケーブル、またはACアダプターをコンセントから抜いてください。



汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。パーツクリーナー、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使うと外装等が変質する恐れがあります。パソコンやAV機器用清掃器具は受令機にもお使いになれます。定期的な清掃は製品を長く正常にお使い頂くために大変有効です。



注意

■運転中の受令機の使用について



一部の自治体では、運転中のイヤホンの使用を制限されています。あらかじめ、ご確認ください。

**注意****■使用環境・条件**

電化製品、工業機械、電子機器などの近くでは、電波障害を受けたり与えたりすることがあります。



極端に湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。



湿度の高い所や、冷たい所から急に温かい所へ移動しますと、製品に露がつく場合があります。内部が結露するとショートなど故障の原因となります。可能な限り、ご配慮ください。



ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして故障やけがの原因となることがあります



直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

1

車載型受令機を お使いになる前に

.....付属品の確認.....

本機の標準構成は以下の通りです。納入仕様により異なる場合があります。

- 消防救急デジタル無線用車載型受令機 DR-XF5N/CR
- 電源ケーブル UA0086
- ブラケット BG0018
- 六角ネジ (6 本)
- スピーカーマイク (DR-XF5CR に付属) EMS-500

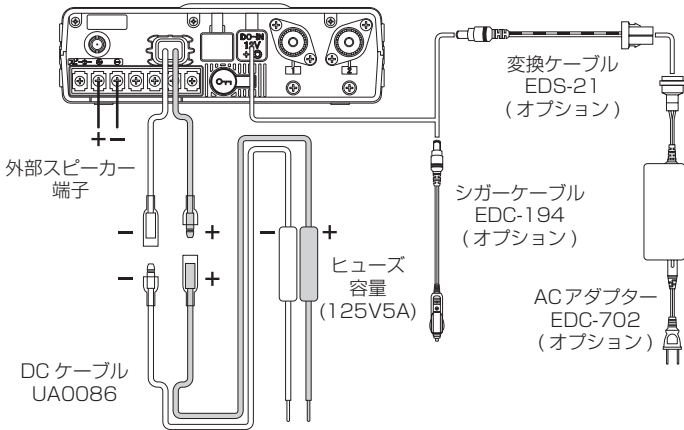
本機専用、または弊社が認めたアクセサリ以外をご使用になって起きた不具合は保証期間の有無を問わず有償修理になります。また、他社製アクセサリに起因する不具合は、弊社で修理や改造で対応することはできません。

付属品の取り付け方

電源を接続する

電源ケーブルを本機のケーブルと接続します。赤色ケーブルの導線をバッテリーの⊕端子に、黒色ケーブルの導線を⊖端子にそれぞれ接続してください。電池を使用する場合は P.15 をご参考ください。

| | 型番 | 接続方法 |
|-------|--------------------|---|
| 付属品 | 電源ケーブル UA0086 | 直接車のバッテリーに接続するか、相当する直流安定化電源に接続します。 |
| オプション | シガーケーブル EDC-194 | 車のシガーライターソケットに接続します。 |
| | ACアダプター EDC-702 | AC100V コンセントに接続します。別途変換ケーブル EDS-21 が必要です。 |
| | 変換ケーブル EDS-21 | ACアダプターに接続して使います。 |



注意

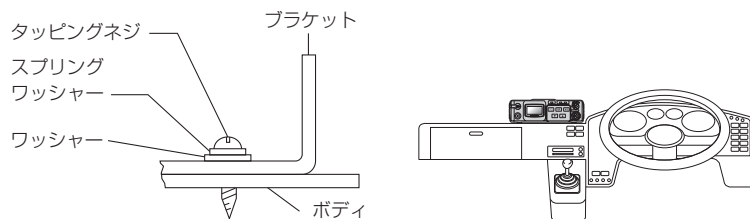
- 電源ケーブルを接続するときは、+プラスと-マイナスの極性を間違えないようご注意ください。
- 電源ケーブルのヒューズホルダーは必ず使用してください。
- 結線にゆるみがないか、定期的を確認してください。
- オプション品は DR-XF5N でのみご使用ください。
- DR-XF5N は 12 ~ 24V、DR-XF5CR は 12 ~ 16V でご使用ください。

この範囲外で使用すると故障の原因となります。(電池使用時を除く)

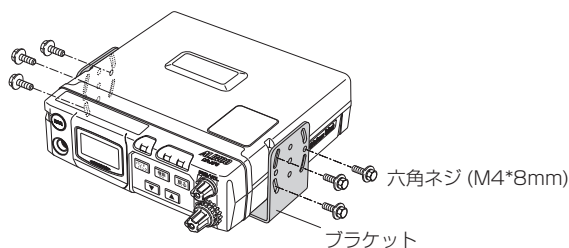
■ブラケットを取り付ける

ブラケットを下記手順に従って取り付けます。取り付けには別途ドライバー等の工具が必要です。本製品にはブラケットと本機を止める六角ネジ 6 本が付属しています。

1. 取り付け場所が安全運転の妨げにならないことを確認する。
2. タッピングネジ、スプリングワッシャー、ワッシャー等を使ってブラケットを車に取り付ける。



3. 付属の六角ネジ 6 本を使って本機をブラケットに取り付ける。



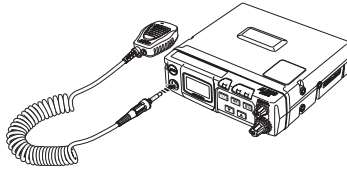
4. 確実に取り付けられているか確認する。

注意

- 取り付け後は、定期的にネジ類に緩みがないかご確認ください。
- 規格外の六角ネジを使うと本機がブラケットから外れたり、故障の原因となります。
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
 - ひざが本機にあたる場所や、エアバッグその他自動車の動作に支障を来す場所。
 - ハンドルやレバーなどに引っかかるような場所。
 - 液体や薬剤がかかる場所。
- 弊社の製品保証には、取り付けや取り外しに掛かる費用は含まれません。保証期間中に不具合が起こり、製品を取り外して再度取り付ける際に費用が発生しても、弊社ではその費用負担は致しかねますので、予めご了承ください。

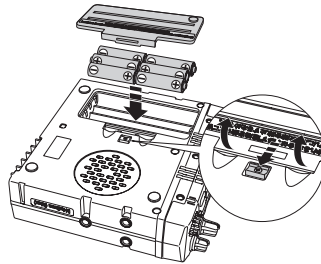
■スピーカーマイクを接続する (DR-XF5CR)

スピーカーマイクを接続するときはキャップを外し、押し込みながら回してください。SP/MIC 端子は防滴のためキャップで塞いでいます。取り外しはマイナスドライバーをご使用ください。また、キャップの紛失にはご注意ください。



..... 電池を使用する場合

本機は非常時に電池でもご使用になれます。その場合は単三電池を 6 本使用します。電池の取り付け方は、底面のカバーを取り外し電池の向きを確認し取り付けてください。使用可能な電池はニッケル水素充電池・アルカリ乾電池です。



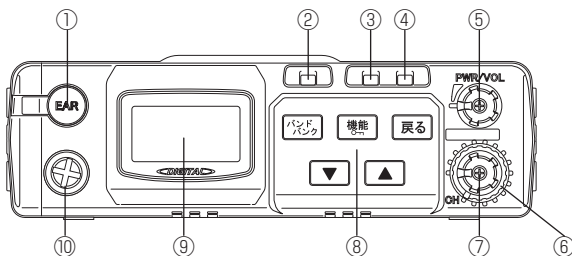
- 注意**
- ・車載機として運用される場合、電池は使用しないでください。
 - ・電池で運用時はデジタル簡易無線の最大出力は 3 ~ 4W となります。
 - ・電池が残り少なくなると、デジタル簡易無線機能はご使用になれません。
 - ・マンガン乾電池は使用しないでください。
 - ・電池で動作させた場合、スピーカーの音量や送信出力が下がることがありますが、これは故障ではありません。
 - ・本機能は非常時を想定して設けられたもので、普段から電池での使用を推奨するものではありません。
 - ・電池を長期間使用しない場合や、外部端子から電源供給をする場合は電池を取り外してください。液漏れによる故障の原因となります。
 - ・電池で運用される場合、内蔵スピーカーから出力となります。

2

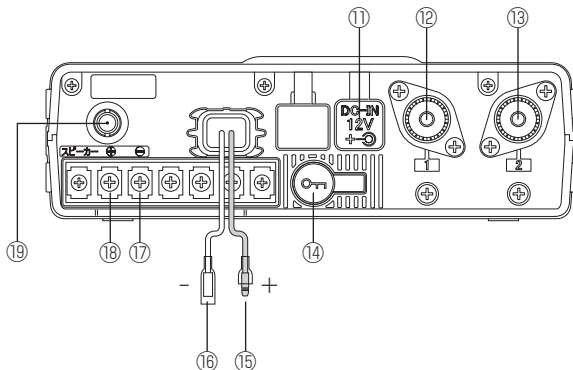
各部の名前と機能

※本文中、「長く押す」「長押し」は、説明する動作が始まるまでキーを押したままにすることを表します。「押す」はしっかりとキーを一度押してから、すぐに指を放すことを表します。

■フロントパネル



■リアパネル



参考

- 未使用の端子は予備です。納入仕様に応じて内部結線されます。
- ⑱の SMA 端子は DR-XF5CR にのみ搭載されています。
- 市販されているアンテナ端子変換用コネクタには、この製品に適合しない形状のものがあります。変換コネクタが正しく接触しているか確認してからお使いください。

| 説明 | | | |
|----|--------------------|---|--|
| ① | イヤホン端子 | モノラルイヤホンを接続してご使用ください。 | |
| ② | デジタル簡易無線 LED | 赤色：デジタル簡易無線送信中 緑色：デジタル簡易無線受信 | |
| ③ | バンド LED | 青色：基地局受信 橙色：移動局受信 バンドスキャン中は青色と橙色が交互に点灯します。 | |
| ④ | 受信 LED | 受信中は緑色に点灯します。 | |
| ⑤ | 電源 / 音量ツマミ | 電源を入れるには時計回り (右) に「カチッ」と音が鳴るまで回します。更に回すと音量を上げます。音量を下げるには反時計回り (左) に回します。更に回転が止まるまで回すと電源を切ります。 | |
| ⑥ | チャンネルストッパー | このリングを指で手前に引きながら回すことにより、ロータリースイッチの可動域を制限する機能です。 | |
| ⑦ | ロータリースイッチ | 左右に回すと、CH バンク選択で選択しているバンク内のチャンネルを順次切り替えます。 | |
| ⑧ | キーボード | バンド バンク | 仕様①：押すたびに基地局受信と移動局受信を切り替えます。長押しすることによってデジタルバンドスキャンを開始・停止します。 仕様②：押すたびにデジタルチャンネルバンクを切り替えます。 |
| | | 機能 | 「機能」キーを押すとメニューを開きます。メニュー画面で押すと、その項目を選択します。また、初期画面で長押しするとキーロックを設定します。再度長押しするとキーロックを解除します。 |
| | | 戻る | メニュー画面で押すとひとつ前の画面に戻り、長押しすると初期画面に戻ります。短縮キー機能 (P.30) を設定できます。初期画面で長押しすると表示画面を切り替えます。(DR-XF5CRのみ) |
| | | ▲ / ▼ | メニュー表示時にカーソルを上下に移動します。 |
| ⑨ | ディスプレイ | 本書中「ディスプレイ表示」を参照してください。 | |
| ⑩ | SP/MIC 端子 | EMS-500(DR-XF5CR に付属) を接続します。 | |
| ⑪ | DC 端子 | DR-XF5N の場合はオプション品を接続することで本機を使用できます。 DR-XF5CR の場合はデジタル簡易無線がご使用になれません。 | |
| ⑫ | M 型アンテナコネクター 1 | デジタル消防信号、アナログ信号を受信するためのコネクターです。 規格に準拠して製造されたアンテナ (インピーダンス 50 Ω) を接続します。 | |
| ⑬ | M 型アンテナコネクター 2 | デジタル消防信号を受信するためのコネクターです。 規格に準拠して製造されたアンテナ (インピーダンス 50 Ω) を接続します。 | |
| ⑭ | セキュリティ端子 | 詳細は通信機器担当者様にお尋ねください。 | |
| ⑮ | 電源ケーブル+ | 付属品の電源ケーブル④端子と接続します。 | |
| ⑯ | 電源ケーブル- | 付属品の電源ケーブル⑤端子と接続します。 | |
| ⑰ | 外部スピーカー端子- | 外部スピーカーの⑥側を接続します。 | |
| ⑱ | 外部スピーカー端子+ | 外部スピーカーの⑦側を接続します。 | |
| ⑲ | SMA 型アンテナ コネクター | 規格に準拠して製造されたアンテナ (インピーダンス 50 Ω) を接続します。 (DR-XF5CR の場合に搭載されています) | |

※機能は納入仕様によって変更、または削除されている場合があります。



参考

- 本機のアンテナコネクターは汎用性が高く、使いやすいインチ・ミリ両用 (M/PL) タイプを採用しています。専用のもと比べて嵌め合いに遊びが感じられますが、異常ではありません。リングが回らなくなるまでしっかり締めてください。

注意

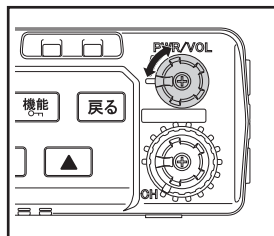
- アンテナのインピーダンスは 50 Ω です。本機とアンテナ、同軸ケーブルのインピーダンスが異なると、受信性能が低下する恐れがあります。
- 外部スピーカー端子にはインピーダンス 8 Ω の物を接続してください。
- イヤホンを接続すると、内蔵スピーカーと外部スピーカーを自動的にミュートします。

3

基本操作 (DR-XF5N/CR)

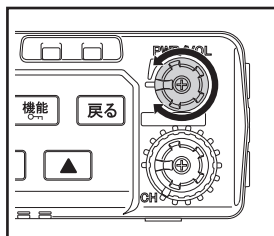
■電源を入れる / 切る

電源 / 音量ツマミを時計回り (右) に回して電源を入れます。電源を切るときは、反時計回り (左) に回転が止まるまで回します。



■音量を調整する

電源 / 音量ツマミを時計回り (右) に回して音量を大きくします。音量を小さくするには反時計回り (左) に回します。



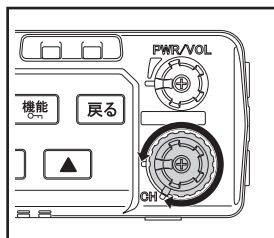
参考

- 目安になる信号がないときはFMラジオ (※P.26)を受信しながら電源 / 音量ツマミを調整すると適切に設定できます。
- イヤホンで聞くときは音量を最小にしてから、調整を始めてください。
- 静電気が溜まりやすい場所や服装でイヤホンを装着するとき、耳に静電気ショックを感じる場合があります。

■チャンネルを切り替える

●デジタルチャンネルの切り替え

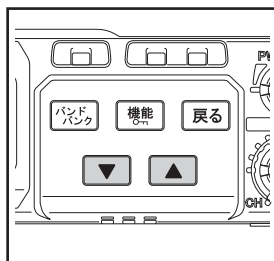
デジタルチャンネルを切り替えるには、ロータリースイッチを回すと、CHバンク選択 (P.23) で選択しているバンク内のチャンネルを順次切り替えます。最大 16 チャンネル※を切り替えられます。



※納入仕様により、チャンネルスキャン機能を割り当てた場合、最大 15 チャンネルとなります。この場合、反時計回り (左) に回転が止まるまで回すと、チャンネルスキャン (P.36) を開始します。停止するには時計回り (右) に回します。

●アナログチャンネルの切り替え

アナログチャンネルを切り替えるには、デジタル消防無線画面で「▼」「▲」キーを押します。

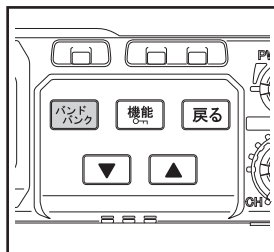


■デジタルバンドを切り替える

納入仕様により、機能が異なる場合があります。

仕様①

初期画面で「バンド/バンク」キーを押すたびに基地局受信と移動局受信を切り替えます。長く押すとデジタルバンドスキャンに切り替えます。デジタルバンドスキャンとは、基地局受信と移動局受信を交互にスキャンして信号が出ているデジタルバンドに切り替える機能です。再度長押しすると、デジタルバンドスキャンを停止します。デジタルバンドスキャン中は、バンド LED が青色と橙色に交互に点灯します。




仕様②


押すたびにデジタルチャンネルバンクを切り替えます。

※ アナログバンドの切り替えは、セットモードをご参照ください。(P.26)

■音声を受信する

音声信号を受信すると、受信 LED が緑色に点灯し、受信した信号レベルに応じてディスプレイに「」アイコンを表示します。この時、受信条件を満たしていると音声が聞こえます。

■ショートメッセージを受信する

ショートメッセージ信号を受信すると、受信 LED が緑色に点灯し、受信した信号レベルに応じてディスプレイに「」アイコンを表示します。この時、受信条件を満たしているとショートメッセージを受信します。

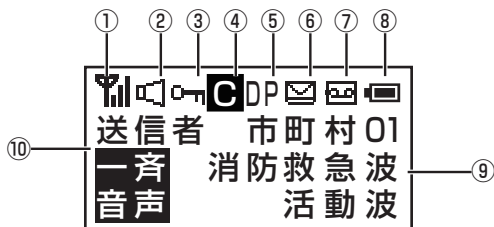
■設定を変更する

設定を変更するには、「機能」キーを押してセットモード (P.22) を開きます。設定を変更したい項目を「▼」「▲」キーで選択し、「機能」キーで決定してください。

※受信条件について

送信を行う局がグループ通信機能などを使い、特定の局と通信を行う場合、自局がその対象でなければ受信できません。

■ デジタル消防無線画面 (DR-XF5N/CR 共通)



| 説 明 | | |
|-----|-----------------------|--|
| ① | | 受信したデジタル電波の強さを三段階で表示します。電波がないときは「↑」だけを表示します。 |
| ② | | 内蔵スピーカー、外部スピーカーのどちらが有効であるか表示します。 |
| ③ | | キーロック設定時に表示します。 |
| ④ | | デジタル簡易無線が電源オンの場合には「 C 」ミュートの場合には「 M 」を表示します。(DR-XF5CR) |
| ⑤ | | デジタル消防・アナログの状態を表示します。優先状態を表示します。 一文字目 D: デジタル消防 A: アナログ 二文字目 M: ミュート P: 優先 |
| ⑥ | | 未読のショートメッセージがある場合に表示します。 |
| ⑦ | | 未聴の録音データがある場合に表示します。 |
| ⑧ | | アルカリ電池の残量を三段階で表示します。残量が少ないときは「」を表示します。 |
| ⑨ | 市町村01 消防救急波 活動波 | 上段にアナログ CH 名 (受信時に反転表示)、中段にバンク名、下段にデジタル CH 名を表示します。ただし、デジタル個別信号を受信時は上段に発呼者名、中段に被呼者名を表示します。 |
| ⑩ | 基地局1 一斉 音声 | デジタル信号の発信元の名前や、受信の種類を表示します。 |

注意

・機能は納入仕様によって変更、または削除されている場合があります。

4

デジタル消防セットモード
(DR-XF5N/CR)

| | | | | | | | | |
|-----------|--------------------|--|-----------------------------------|----------|----------|--|--|--|
| デジ簡画面表示 | | | | - | | | | |
| 受信設定 | デジタル 消防受信 | CHバンク選択 | 最大16バンク | | | | | |
| | | CHスキャン設定 | タイマー、ビジー | | | | | |
| | | グループ設定 | グループモード | シングル マルチ | | | | |
| | | | グループ選択 | シングルモード | 最大62グループ | | | |
| | | マルチモード | | 最大62グループ | | | | |
| | 自動機能設定 | SM自動表示 | オン、オフ | | | | | |
| | | 自動録音 | オン、オフ | | | | | |
| | アンテナ設定 | ダイバーシチ、シングル、セバレート | | | | | | |
| | アナログ 受信 | バンド選択 | オフ、特定小電力、消防無線、署活系無線 FMラジオ、緊急放送 | | | | | |
| | | CHスキャン設定 | タイマー、ビジー | | | | | |
| ボリューム | | レベル1～レベル3 | | | | | | |
| スケルチレベル | | オープン、レベル1～レベル5 | | | | | | |
| トーンスケルチ | | オフ、1～50 | | | | | | |
| 優先受信設定 | D 消防優先、アナログ優先、同時受信 | | | | | | | |
| 録音開始 / 停止 | | | | - | | | | |
| 機能設定 | スピーカー 設定 | 内蔵スピーカー、外部スピーカー | | | | | | |
| | サウンド設定 | 操作音設定 | オフ、1～5 | | | | | |
| | | ミュート設定 | オフ、アナログ、デジタル消防 | | | | | |
| | | デジ簡ミュート | オフ、オン | | | | | |
| | ディスプレイ | LCDライト | オフ、オン、5秒 | | | | | |
| | | キーライト | オフ、オン、5秒 | | | | | |
| | | コントラスト | レベル1～レベル10 | | | | | |
| | 短縮キー設定 | オフ、録音開始 / 停止、Dバンド切替、Aバンク切替、 優先受信切替、ミュート切替、デジ簡ミュート | | | | | | |
| | キーロック 時間 | 1秒、3秒、5秒 | | | | | | |
| | 履歴表示 | SM履歴 | 履歴1～履歴10 | | | | | |
| 録音履歴 | | 履歴1～履歴10 | | | | | | |
| 履歴消去 | | SM履歴消去 | 消去する、消去しない | | | | | |
| | | 録音履歴消去 | 消去する、消去しない | | | | | |
| 情報表示 | 装置情報 | 装置情報0～装置情報1023 | | | | | | |
| | 団体情報 | 団体情報0～団体情報1023 | | | | | | |
| デジ簡電源 | オン / オフ | | | | | | | |

※ この機能は納入仕様によって変更、または削除されている場合があります。

..... デジタル簡易無線画面表示

デジタル簡易無線の情報を表示する画面に切り替わります。
また、デジタル消防無線画面で「戻る」キーを長押しでも切り替えることができます。



注意 この機能は DR-XF5CR にのみ搭載されている機能です。

..... 受信設定

■ デジタル消防受信

デジタル消防に関する受信設定をします。

■ CH バンク選択

ロータリースイッチに設定しているチャンネルを、バンク単位で切り替えます。

本機はバンクを 16 個持っており、1つのバンクには最大 16 チャンネル登録できます。CH バンク選択画面には、登録されているバンクしか表示されません。選択中のバンクは「◎」マークによって示されます。

■ CH スキャン設定

デジタル消防のチャンネルスキャン(☞P.36)停止後のスキャン再開条件を選びます。

タイマー：信号があっても 5 秒経過するとスキャンを再開します。

ビジー：受信している信号がなくなればスキャンを再開します。

■グループ設定

本機に登録されているグループ番号から、受信するグループを選びます。

・グループモード

シングル：シングルモード有効時、選択した1つのグループから受信します。

マルチ：マルチモード有効時、選択した全てのグループから受信します。

・グループ選択


シングルモード：受信するグループをどれか1つ選びます。選択中のグループは「◎」マークによって示されます。

マルチモード：受信するグループを複数選びます。選択中のグループは「○」マークによって示されます。

■自動機能設定

・SM 自動表示

オン：ショートメッセージを受信したとき、自動的に受信したメッセージをディスプレイに表示します。

オフ：ショートメッセージを受信しても自動表示は行いません。ディスプレイ上部に未読メッセージがあることを示す「」アイコンを表示します。

・自動録音

オン：発信規制情報のうち、出動指令と通信規制の情報を受信した時、自動的に録音状態となり、受信した音声を録音します。

オフ：自動録音しません。この設定に関係なく、録音開始 / 停止 (P.28) で録音を開始していると、受信した音声を録音します。録音は1件につき60秒まで、10件保存します。10件を越える古い録音は自動的に消去され、新しい録音に置き換わります。

■アナログ受信

アナログ受信に関する受信設定をします。

■バンド選択

特定小電力、消防無線、署活系無線、FM ラジオ、緊急放送の5種類の中から選んだ後、チャンネルを選びます。何も受信しない場合はオフを選びます。

* 納入仕様により、機能が異なる場合があります。(チャンネル数など)

| 選択バンド | チャンネル (周波数) | |
|--------|--------------|--------------|
| オフ | なし | |
| 特定小電力 | 最大 48 チャンネル | |
| 消防無線 | 最大 126 チャンネル | |
| 署活系無線 | 最大 80 チャンネル | |
| FM ラジオ | TUNING | 65 ~ 89.9MHz |
| | 最大 6 チャンネル | |
| 緊急放送 | なし | |

注意

- デジタル消防用のアンテナをご使用の場合、アナログ受信の感度が悪く感じられることがあります。必要に応じてアンテナ設定 (P.25) のセパレートを選択し、市販のアンテナをご使用ください。

■CH スキャン設定

アナログ無線のチャンネルスキャン (P.36) 停止後のスキャン再開条件を選びます。

タイマー：信号があっても 5 秒経過するとスキャンを再開します。

ビジー：受信している信号がなくなればスキャンを再開します。

■ボリューム

デジタル受信の音量と比べてアナログ受信の音量が大きい時などに設定します。

音量をレベル 1 ~ レベル 3 の 3 段階から選択します。

「▼」「▲」キーを押して適切な音量に調整してください。

■スケルチレベル

スケルチをオープン、レベル 1 ～レベル 5 の 6 段階から選択します。スケルチとは信号のないときに聞こえる雑音をなくす機能です。「▼」「▲」キーを押して適切なスケルチに調整してください。調整したスケルチはバンド毎に保存されます。バンド選択がオフの場合は各バンドのスケルチを変更できます。

■トーンスケルチ

FM ラジオ以外のアナログバンド選択時に使用されます。現在の受信チャンネルの トーンスケルチをオフ、1 ～ 50 から選択します。(P.59)
※この機能は納入仕様によって変更、または削除されている場合があります。

■優先受信設定



デジタル消防無線とアナログ無線、どちらを優先的に受信するか選択します。

- D(デジタル) 消防優先 … デジタル消防無線を優先して受信します。デジタル消防信号受信中はアナログ無線の音声をミュートにします。
- アナログ優先 … アナログ無線を優先して受信します。特定小電力、消防無線(アナログ)、署活系無線を受信中はデジタル消防無線をミュートにします。(FM ラジオは除く)
- 同時受信 … 両方同時に受信します。聞き取りにくい場合があります。

注意

- 本設定は本体スピーカーから出力されるデジタル消防無線とアナログ簡易無線の出力設定であり、スピーカーマイクから出力されるデジタル簡易無線の設定はできません。


..... 録音開始 / 停止


受信した音声を録音します。録音するには、あらかじめセットモードから録音開始 / 停止を選択、決定しておきます。録音中はディスプレイに「」アイコンが点滅します。録音機能を停止するには再度、録音開始 / 停止を選択、決定します。未聴の録音がある場合、「」アイコンが点灯します。録音は 1 件につき 60 秒まで、自動録音 (☞ P.24) と合わせて 10 件保存します。

..... 機能設定

■スピーカー設定

受信した音声や各種警告音の出力先を選びます。

内蔵スピーカー：内蔵スピーカーから鳴らします。ディスプレイ上部には「」アイコンを表示します。

外部スピーカー：外部スピーカーから鳴らします。別途スピーカーの取り付け (☞ P.17) が必要です。ディスプレイ上部には「」アイコンを表示します。

注意 ・本機から音が出ないときは、故障を疑う前に上記設定をチェックしてください。

■サウンド設定

■操作音設定

キー操作をした時や起動した時、受信した時に出る音をビープ音と呼びます。

ビープ音の音量はオフ、レベル 1 ～レベル 5 の間で設定できます。

レベル5が音量最大です。オフはビープ音は鳴りませんが喚起音 (☞ P.35) は鳴ります。

■ミュート設定

デジタル消防、アナログ無線で一時的にミュートにしたい信号を選択します。

オフ … 通常状態です。

アナログ … アナログ無線の音声をミュートにします。

デジタル消防 … デジタル消防の音声をミュートにします。

注意

- アナログミュートでも FM ラジオはミュートになりません。
- デジタルミュートを選択するとデジタル消防無線が聞こえません。
- 電源を切るとミュートオフになります。

■デジ簡ミュート

デジタル簡易無線の音声をミュートにする設定です。

オフ … 通常状態です。

オン … デジタル簡易無線の音声がミュートとなります。

注意

この機能は DR-XF5CR にのみ搭載されている機能です。

■ディスプレイ

LCD ライト、キーライト、コントラストの動作を設定します。

■LCD ライト、キーライト

オフ：バックライトは常時消灯します。

オン：バックライトは常時点灯します。(電池が早く減るのでご注意ください。)

5 秒：バックライトはキー操作、またはデジタル信号受信時に点灯し、操作終了5秒後に消灯します。

■コントラスト

コントラストはレベル 1 ～ レベル 10 の間で設定できます。値が大きくなる程、文字が濃くなります。

■短縮キー設定

デジタル消防無線画面表示時において「戻る」キーに特定の機能を割り当てることができます。割り当てることができる機能は以下の通りです。

- ・ オフ
- ・ 録音開始／停止
- ・ D(デジタル)バンク切替
- ・ A(アナログ)バンド切替
- ・ 優先受信切替
- ・ ミュート切替
- ・ デジ簡ミュート

■キーロック時間

「機能」キーを長押しした際に、キーロック状態になるまでの時間を設定します。1秒、3秒、5秒の3パターンから選びます。

履歴表示

■SM(ショートメッセージ)履歴

ショートメッセージの履歴を最新のものから最大 10 件表示します。10 件を超えた分は古いものから消去されます。「▼」「▲」キーを押して履歴を選択、「機能」キーで決定すると表示します。未読のメッセージには「!」マークを表示します。

■録音履歴

録音履歴を最新のものから最大 10 件表示します。10 件を超えた分は古いものから消去されます。「▼」「▲」キーを押して履歴を選択、「機能」キーで決定すると録音を再生します。再生中に「機能」キーを押すと再生を中止します。未聴の項目には「!」マークを表示します。

■履歴消去

- ・ SM 履歴消去 消去する：ショートメッセージの履歴を全て消去します。
消去しない：何も消去しません。
- ・ 録音履歴消去 消去する：録音履歴を全て消去します。
消去しない：何も消去しません。

情報表示

■装置情報

本機に登録されている受令機情報、他局情報を表示します。

■団体情報

本機に登録されている自他の団体情報を表示します。

デジタル簡易無線電源

デジタル簡易無線の電源をオン/オフします。オフ状態の時デジタル簡易無線画面に切り替えることはできません。

注意

• この機能は DR-XF5CR にのみ搭載されている機能です。

5

受信機能 (DR-XF5N/CR)

デジタルバンドを切り替え(※P.19)、どの局から信号を受信するかを決めます。

基地局受信：基地局からの音声、移動局から基地局を経由した音声、ショートメッセージ、発信規制信号を受信します。

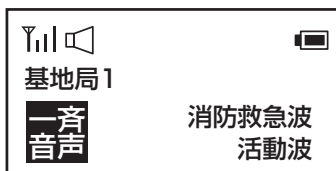
移動局受信：移動局から送信された音声を直接受信します。

バンドスキャン：基地局受信と移動局受信を交互に切り替えます。

音声受信

基地局または移動局からの音声を受信すると、次のように動作します。

- ①受信 LED が緑色に点灯します。
- ②ディスプレイに「一斉」「音声」文字を表示します。
- ③発信元の名称を表示します。
※発信元の装置情報が本機に登録されていない場合は、発信者番号を表示します。
- ④スピーカー、またはイヤホンから受信した音声を鳴らします。



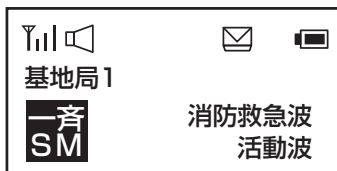
参考

- デジタル通信は、アナログ通信に比べてフェージングの影響を受けやすく、走行中の車両からの通信などは途切れて聞こえがちな事があります。

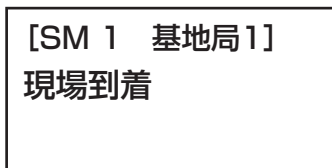
..... ショートメッセージの受信

基地局または移動局からショートメッセージを受信すると、次のように動作します。

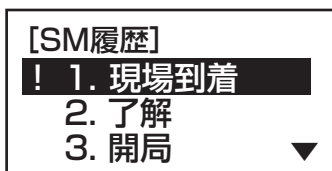
- ①受信 LED が緑色に点灯します。
- ②ディスプレイに「一斉」「SM」文字を表示します。
- ③発信元の名称を表示します。
※発信元の装置情報が本機に登録されていない場合は、発信者番号を表示します。
- ④「ピポッ」という音が鳴り、ショートメッセージを受信し終わったことを知らせます。



SM自動表示 (P.24) をオンに設定すると、受信したショートメッセージを自動的にディスプレイに表示します。受信したメッセージがディスプレイに納まらなかった場合は、ディスプレイ右側に表示の続きがあることを示す「▼」マークを表示します。続きのメッセージを表示するには、「▼」キーを押して、画面をスクロールします。



受信したショートメッセージは SM 履歴 (P.31) に保存されます。



発信規制信号

基地局から発信規制信号を受信すると、次のように動作します。

- ①受信 LED が緑色に点灯します。
- ②ディスプレイに規制情報を表示します。

※規制情報によってはディスプレイに表示されないものがあります。

- ③規制情報に対応したブザーやチャイムの喚起音を鳴らします。



| 発信規制情報 | 情報詳細 | ディスプレイ表示 | 喚起音 |
|--------|------|----------|-----------------------|
| 出動指令 | 火災出動 | あり | 警報ブザー (プアーウー) |
| | 救急出動 | あり | 救急車サイレン (ピーポーピーポー) |
| | 救助出動 | あり | 警報音 (ピロロン) |
| | 連絡 | あり | チャイム (ピンポンパンボン) |
| 通信規制 | 発信規制 | あり | アラーム (ブーウブーウツ) |
| 緊急信号 | 緊急信号 | なし | 仕様による |
| 強制切断 | 強制切断 | なし | 非常ベル (ピポピポピポピボン) |



参考

- ・自動録音 (P.24) をオンに設定すると、次の条件において発信規制中に送信された音声を録音します。
 - ・出動指令情報を受信した時
 - ・通信規制情報を受信した時

6

便利な機能 (DR-XF5N/CR)

..... チャンネルスキャン

チャンネルスキャンとは、信号を受信できるチャンネルを自動で探して、信号を見つけたチャンネルで受信する機能です。

■チャンネルスキャン（デジタル消防）

ロータリースイッチにチャンネルスキャン機能が割り当てられているときに動作します。チャンネルスキャンが開始されると、ディスプレイのチャンネル名の部分に「**スキャン**」を表示します。チャンネルスキャン状態を終了するにはロータリースイッチを左端以外の位置に動かします。





■チャンネルスキャン（アナログ）

「▼」「▲」キーどちらかを長押しします。チャンネルスキャンが開始されると、ディスプレイのアナログバンドの部分に「スキャン」を表示します。チャンネルスキャン状態を終了するには「▼」「▲」キーを押します。



キーロック




キーロックは誤ってキーが操作されることを防ぐ機能です。「機能」キーを長押しするとキーロックが設定され、ディスプレイに「」アイコンを表示します。この状態では電源のオン/オフや音量調整を除いて、キー操作は何もできなくなります。解除するには、もう一度「機能」キーを長押しして「」アイコンを消します。

※キーロック状態になるまでの時間は変更することができます。(P.30)



電池残量アイコン

電池残量アイコンは、アルカリ電池の残量を表示します。残量表示が空になっているときは、電池を交換してください。

-  電池の残量が十分にあります。
-  電池の残量がまだあります。
-  電池の残量が少なくなっています。交換の時期です。



7

デジタル簡易無線基本操作 (DR-XF5CR)

■デジタル簡易無線画面の表示

デジタル消防無線画面で「戻る」キーを長押しすることで、デジタル簡易無線画面に切り替えます。

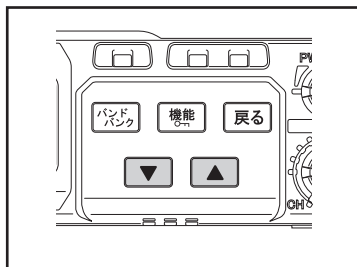
また、デジタル簡易無線画面で「戻る」キーを長押しすることで、元のデジタル消防無線画面に切り替わります。



■チャンネルの切り替え

デジタル簡易無線画面で「▼」「▲」キーを押し CH01 ~ CH30 を選択します。

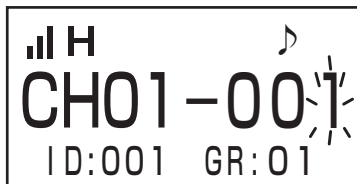
キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。



■相手局に合わせる

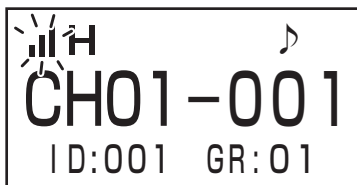
個別通信時の個別呼出、グループ呼出、全員呼出はデジタル簡易無線画面で「バンド/バンク」キーを押して切り替えます。相手の個別 ID・グループを指定するときは、デジタル簡易無線画面で「バンド/バンク」キーを長押しして、表示を点滅させ「▼」「▲」キーで相手局を選択し、「機能」キーを押すことで決定します。

(値が大きい場合は「バンド/バンク」キーを押すことで桁を移動できます。)



■受信する

信号を受信すると、受信した信号レベルに応じてディスプレイのアンテナが表示され、受信条件を満たしているとき音声が聞こえるようになります。(個別通信のときは相手局の個別IDが表示されます。)

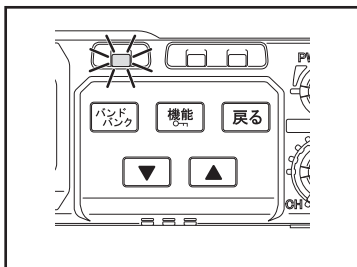


注意

- デジタル簡易無線の音声や通知音はスピーカーマイクから出力されます。

■送信する

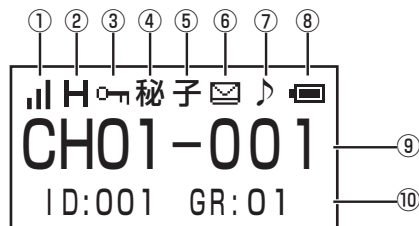
スピーカーマイクの「PTT」キーを押すと、デジタル簡易無線LEDが赤色に点灯し送信状態になります。「PTT」キーを押しながら、マイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm程度離してください。「PTT」キーを離すと受信待ち状態に戻ります。



注意

- デジタル簡易無線は送信を開始してから相手に音声聞こえるまで若干の遅延があります。「PTT」キーを押したら一呼吸おいてからお話してください。
- マイクに向かって話すとき、声が大きすぎたり口元が近すぎたりすると、送信音が歪み(ひずみ)ますのでご注意ください。
- 連続送信等により本機の内部温度が上がると、自動的に送信出力を下げる機能が備わっています。温度が下がることで元に戻ります。
- 本機に限らず、デジタル系の無線同士を近接して運用するとアナログ無線よりも妨害が発生しやすくなります。「DR-XF5CRでのデジタル簡易無線送信時のご注意」(P.5)の項目を必ずお読みの上、妨害を与えないよう配慮して運用してください。
- 通信の出来る距離は周囲の状況によって大きく異なります。本機に採用されている電波は直進性が高く、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。
- 連続送信等をする、と、本体上部が熱を持ちます。

■デジタル簡易無線画面 (DR-XF5CR)



| 説明 | | |
|----|----------------------------|---|
| ① | | 受信した電波と送信出力のレベルに応じて三段階に点灯します。 |
| ② | H/M/L/✕ | 送信時の出力レベルを表示します。 |
| ③ | | キーロック設定時に表示します。 |
| ④ | 秘 | 秘話通信設定時に点灯します。 |
| ⑤ | 子 | 子機間通話禁止機能で子機設定時に点灯します。 |
| ⑥ | | デジタル消防に未読のショートメッセージがある場合に表示します。 |
| ⑦ | | ベル機能設定時に点灯します。 |
| ⑧ | | アルカリ電池の残量を三段階で表示します。残量が少ないときは「」を表示します。 |
| ⑨ | CH01-001 | 送受信チャンネルを表示します。個別通信モードでは送信先のID、グループ、ALLの表示をします。 |
| ⑩ | UC:000/ ID:001 GR:01 | ユーザーコード通信モードではユーザーコードを表示します。個別通信モードでは自局グループ、自局IDを表示します。また、信号受信時には相手局の呼出方法、IDを表示します。 |

8

デジタル簡易セットモード
(DR-XF5CR)

DR-XF5CRにおいて、デジタル簡易無線の画面で「機能」キーを押すことでデジタル簡易無線セットモードをご使用できます。

| | | | | |
|--------------|------------|--------------------|-------------------------------|-----------|
| 消防画面表示 | - | | | |
| 送受信設定 | 送信出力 | オフ、Low、Middle、High | | |
| | 通信モード | ユーザーコード通信 | 000 ~ 511 | |
| | | 個別通信 | 個別 ID 呼出 | 001 ~ 200 |
| | | | グループ呼出 | 全員呼出 |
| | 自局情報設定 | ID 設定 | 001 ~ 200 | |
| | | グループ設定 | 01 ~ 10 | |
| | 送信先自動切替 | 個別切替 | オフ、5 秒、10 秒、30 秒、60 秒、 無制限 | |
| | | グループ切替 | オフ、5 秒、10 秒、30 秒、60 秒、 無制限 | |
| | | 全員切替 | オフ、5 秒、10 秒、30 秒、60 秒、 無制限 | |
| | 秘話設定 | オフ | | |
| オン | | 00001 ~ 32767 | | |
| 子機間通話禁止 | 親機、子機 | | | |
| SP/MIC 設定 | 音量 | 本体連動、オフ、01 ~ 31 | | |
| | マイク感度 | 低い、標準、高い | | |
| サウンド設定 | 操作音 | オフ、1 ~ 4 | | |
| | エンドビー | オフ、オン | | |
| | ベル | オフ、オン | | |
| | PTT ビープ | オフ、オン | | |
| | 送信制限警告 | オフ、オン | | |
| 画面自動切替 | オフ、通信中、無制限 | | | |

..... デジタル消防無線画面表示

デジタル消防無線の情報を表示する画面に切り替わります。
また、デジタル簡易無線画面で「戻る」キーを長押しでも切り替わります。

..... 送受信設定

■送信出力

送信出力を設定します。現在の出力状態はデジタル簡易無線画面で表示されます。

High : 送信出力 5W(「H」が点灯します。)

Middle : 送信出力 2W(「M」が点灯します。)

Low : 送信出力 1W(「L」が点灯します。)

オフ : 送信しない(「×」が点灯します。)

(受信専用端末としてご使用できます。)



- 送信出力を小さくすると、その分電池が長持ちします。
通話範囲が狭い時は Middle か Low で通話テストをして状態が良ければ、そのままお使いになることをおすすめします。

■通信モード

ユーザーコード通信か個別通信か選択する機能 (※ P.49 ~ 54) です。

■ユーザーコード通信

ユーザーコードを 000 ~ 511 の間で選択します。値は「▼」「▲」キー、桁は「バンド/バンク」キーで変更します。

■個別通信

同じ CH 内で交信相手の ID、グループ、全員を指定して呼び出します。

- ・ 個別 ID 呼出 : 交信相手の個別 ID001 ~ 200 から選択して呼び出します。値は「▼」「▲」キー、桁は「バンド/バンク」キーで変更します。
- ・ グループ呼出 : 自局と同じグループを呼び出します。
- ・ 全員呼出 : 全員を呼び出します。

■自局情報設定

自局の ID、グループを設定します。

■ ID 設定

個別通信で使用する ID を 001 ~ 200 の間で選択できます。

■グループ設定

個別通信で使用するグループを 01 ~ 10 の間で選択できます。

■送信先自動切替

個別通信で呼出しされた場合、送信先を自動で切り替える設定です。
オフ / 5 秒 / 10 秒 / 30 秒 / 60 秒 / 無制限から選択します。
無制限を除き、切り替わっている間は点滅表示します。

■個別切替

個別呼出しされた場合、個別表示に一定時間切り替わった後、元の設定に戻る方式と完全に切り替わる方式を設定できます。



■グループ切替

グループ呼出しされた場合、グループ表示に一定時間切り替わった後、元の設定に戻る方式と完全に切り替わる方式を設定できます。



■全員切替

全員呼出しされた場合、全員表示に一定時間切り替わった後、元の設定に戻る方式と完全に切り替わる方式を設定できます。



■秘話設定

秘話通信で使用するコードを設定します。秘話コードが一致していないと交信することができません。

オフ：秘話機能をオフにします。

オン：秘話コードを 32767 通りの中から選択します。

■子機間通話禁止

子機間通話禁止機能 (P.55) で親機か子機か設定する機能です。

●●●●●●●● SP/MIC 設定 ●●●●●●●●

■音量

スピーカーマイクからの音声音量を本体連動、オフ、1～31から設定します。

本体連動：フロントパネルの電源 / 音量つまみと連動して音声の大きさが変わります。

オフ：スピーカーマイクから音声を鳴らしません。

1～31：音声の大きさを任意で変更します。

■マイク感度

スピーカーマイクの感度を設定します。

低い：声が大きと言われる時に設定します。

標準：初期値です。

高い：声が小さいと言われる時に設定します。

.....サウンド設定.....

■操作音

エンドピー、ベル、PTT ビープ、送信制限警告の音量を調節することができます。

ビープ音量はオフ/1(小)～4(大)で設定できます。
ビープ音はオフにするとビープ音は鳴らなくなります。

■エンドピー

相手からの送信終了時に「ピッ」と短いビープ音を鳴らして送信の終わりをわかりやすく伝える機能です。

オフ：無効
オン：有効

■ベル

信号を受信するとベル音でお知らせする機能です。

オフ：無効
オン：有効 (♪：ベルアイコンが点灯します。)

■PTT ビープ

送信直後に「ピピッ」とビープ音を鳴らして通話開始時の頭切れを防ぐ機能です。

■送信制限警告

送信時間制限装置 (P.48) による、「5 分間」の連続送信時間に近づいたことを警告音を鳴らして知らせる機能です。

送信終了 30 秒前「ピピピ」

送信終了 5 秒前「ピー」

オフ：警告音を鳴らさない

オン：警告音を鳴らす

画面自動切替

デジタル消防を受信した場合に自動でデジタル消防無線画面に切り替える機能です。

オフ：画面を切り替えません。

通信中：デジタル消防を受信している間だけ切り替わります。

無制限：デジタル消防を受信した時に完全に切り替わります。

9

デジタル簡易無線通信の ご注意 (DR-XF5CR)

本機は電波法に基づく下記の制限が設けられています。

..... キャリアセンス

通信中のチャンネルで送信操作を行うと、音で警告して送信できなくする機能です。先に通話中の人に妨害を与えないために設けられています。ただし、送受信を終えてから3秒間はキャリアセンスを行いません。

..... 送信時間制限装置

1回の送信で連続して送信できる時間は、「5分以内」と電波法で定められています。

連続した送信が5分を超えると自動的に送信を停止します。

停止後1分間は送信できなくなります。

チャンネルの独占や無駄な長話を防いでなるべく多くの方がチャンネルを共有して使えるようにするために設けられています。

送信時間制限が働く前に警告音を鳴らすことができます。(P.47)

..... 通信の互換性について

DR-XF5CRには音声圧縮方式 AMBE + 2™ を採用した他社製のデジタル簡易無線機と基本の音声通信(ユーザーコード・デジタル秘話通信を含む)はできますが、RALCWI方式の無線機とは通話できません。AMBE方式を採用する弊社製デジタル簡易無線同士では、機種が異なっても各種通信機能は共通で使えるように設定されています。

10

デジタル簡易無線の通信方法 (DR-XF5CR)

..... ユーザーコード通信

セットモード「通信モード」でユーザーコード通信を選択しているとき、この通信方式になります。(☞ P.43)

ユーザーコード通信は、同じチャンネルに合わせていても、ユーザーコードが一致している人同士だけでしか通信できない方式です。

ユーザーコードはセットモード「ユーザーコードの設定」(P.43)により 0～511の中から選ぶことができます。

通話したいグループのメンバー全員に同じコードを設定してください。

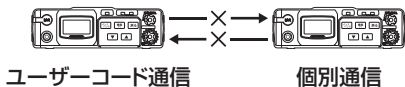


参考

- ・ユーザーコードはチャンネル毎に設定されます。
- ・ユーザーコードとは特定小電力トランシーバーの「グループトーク」、業務やアマチュア無線の「トーンスケルチ」と似た機能です。

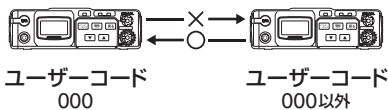
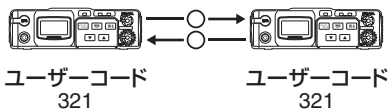
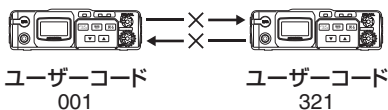
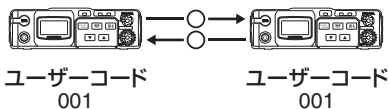
■ユーザーコード通信の手順

- ① デジタル簡易無線画面を表示させます。
- ② 「▼」「▲」キーでチャンネルを合わせます。
- ③ セットモードの「送受信設定」で「通信モード」を選択し、「ユーザーコード通信を」選びます。(☞ .42)
- ④ 「▼」「▲」キーでユーザーコードを合わせます。また、「バンド/バンク」キーで桁を移動します。
- ⑤ 「機能」キーを押して変更内容を確定します。



注意 ユーザーコード通信・個別通信それぞれの通信モードは同じモード同士でしか通話できません。お互いの通信モードを合わせてご利用ください。

ユーザーコード通信



個別通信

セットモード「通信モード」で個別通信を選択しているとき、この通信方式になります。(※ P.43)

個別通信では、ユーザーコードが一致している複数の交信相手を個人、グループ、全員のように指定して呼び出すことができます。
(自分の ID・グループはセットモードで変更できます。)

■個別通信の設定

- ①デジタル簡易無線画面を表示させます。
- ②「▼」「▲」キーでチャンネルを合わせます。
- ③自局と相手局のユーザーコードを合わせます (※ P.43)
- ④セットモードの「自局情報設定」で「ID 設定」「グループ設定」をそれぞれ設定します。
- ⑤セットモードの「通信モード」で「個別通信」を選択し、「個別 ID 呼出」、「グループ呼出」、「全員呼出」のいずれかを選択します。
「個別 ID 呼出」の場合は相手局の ID を設定します。

※デジタル簡易無線画面において、「バンド/バンク」キーを押すことで個人、グループ、全員と交信相手を切り替えることができます。

個別通信の手順は次ページから説明します。

注意 ユーザーコード通信(※ P.49,50)と個別通信では通話できません、どちらかの通信モードに統一してお使いください。

個別通信時のデジタル簡易無線画面には個別表示・グループ表示・ALL 表示の3種類があります。

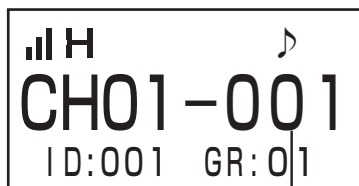
交信には自分・相手とも個別通信モードでユーザーコードが一致している必要があります。

■個別表示のとき

特定の ID だけを呼び出します。

- ・最大で 200 の個別 ID が設定できます。
- ・同じ個別 ID を複数の人に割り当てることもできます。

その場合はグループ呼出のように同じ個別 ID の人全員をまとめて呼び出します。

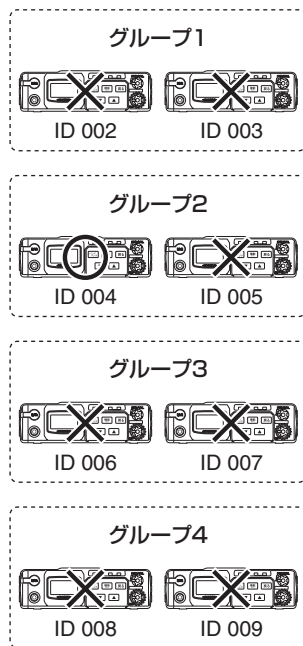
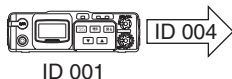


相手局の個別 ID

● ID 切替方法

「バンド/バンク」キーを長押しして個別 ID を点滅させてから「▼」「▲」キーで相手局を選択します。このとき「バンド/バンク」キーを押すと表示点滅の桁が移動します。「機能」キーを押して点滅を止めたら選択が決定します。 <例>

ID 番号 004 の人を呼び出したいとき



■グループ表示のとき

自局と同じグループを呼び出せます。

G01～G10の10組、設定できます。

●グループ切替方法

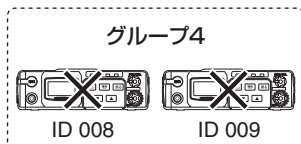
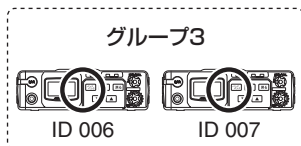
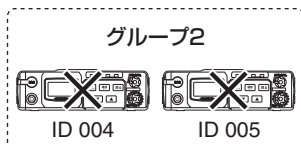
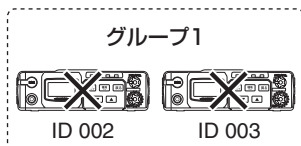
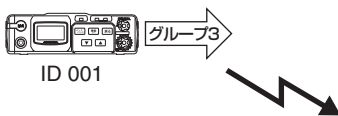
「バンド/バンク」キーを長押しして「グループ番号」を点滅させてから「▼」「▲」キーでグループを選択します。「機能」キーを押して点滅を止めたら選択が決定します。



グループ番号

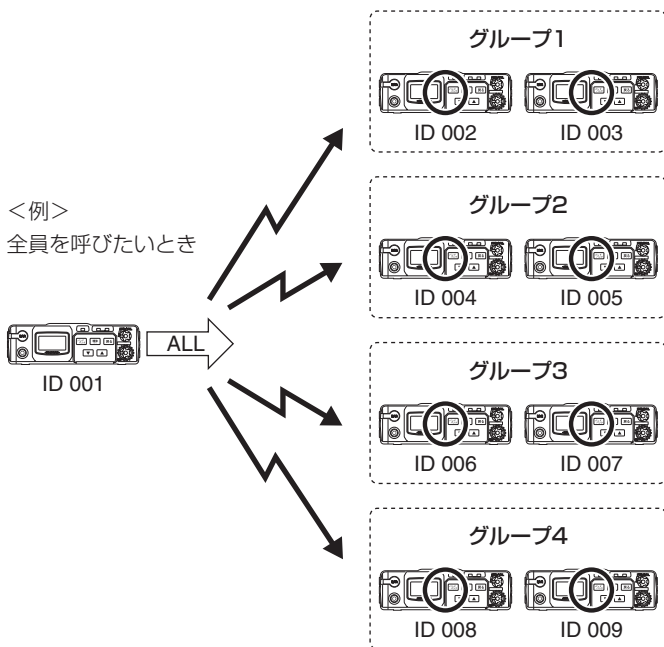
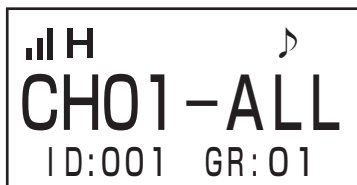
<例>

グループ3番のメンバーを
呼び出したいとき



■ALL 表示のとき

全員を呼び出せます。



秘話通信

秘話キーの一致した無線機間でのみ交信できる機能です。
32,767通りの秘話キーを割り当ててお使いいただけます。

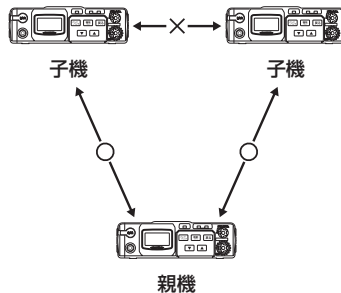
- 注意**
- ・秘話キーが一致しない時は「ギャラギャラ」とノイズの様な音が鳴り続けます。
 - ・秘話キーはチャンネル毎に設定されます。

呼び出し用チャンネル CH15

CH15は呼び出し用チャンネルとなっており、ユーザーコード通信・個別通信・秘話通信はできません。また、このチャンネルは呼び出し用チャンネルです。通話相手を呼び出した後は別のチャンネルに移ってから通話してください。

子機間通話禁止機能

親機と子機間のみ通信可能にし、子機どうしの通信は禁止するモードです。
(子機設定のとき「子機アイコン」点灯)



- ・この機能を使わないときは本機を親機に設定してください。この機能を使うときは設定を子機にしてご使用ください。
(セットモードの「子機間通話禁止機能設定」(P.45))

11

保守・参考

.....故障とお考えになる前に.....

| 症状 | 原因 | 処置 |
|--------------------------|-----------------------|---|
| 電源を入れても、ディスプレイに何も表示されない。 | 接触不良により、電源の供給が出来ていない。 | プラグ等の汚れを清潔で乾いた布や綿棒で取り除く。 |
| | DCケーブルの極性を逆に接続している。 | 本書中“電源を接続する”を参考に正しく接続する。 |
| | ヒューズが切れている。 | ヒューズが切れた原因を除いた後、指定容量(125V5A)のヒューズと交換する。 |
| 異常な表示や音になっている。 | CPU が誤動作している。 | 電源を入れ直す。 |
| | 電池の残量が少ない。 | 電池を交換する。 |
| スピーカーから音が出ない。 | 音量が小さすぎる。 | 適切な音量に設定する。 |
| | スピーカー設定が適切でない。 | 適切な設定に変更する。 |
| | イヤホンが接続されている。 | イヤホンを抜き取る。 |
| | ミュート状態になっている。 | ミュートを解除する。 |
| チャンネルが切り替わらない。 | チャンネルストッパーが設定されている。 | チャンネルストッパーの設定を変更する。 |
| キーによる操作ができない。 | キーロックが設定されている。 | キーロックの設定を解除する。 |
| 受信できない。 | 電波が弱い。 | 電波が強いところに移動する。 |
| | チャンネルが合っていない。 | チャンネルを合わせる。 |
| | アンテナが接続されていない。 | アンテナを接続する。 |
| 外部スピーカーから音が鳴らない。 | 電池で動作させている。 | 電源端子から 12 ~ 16 / 12 ~ 24V の電源を供給する。 |

■受信不良について

下記のような場合は、異常や故障ではありません。

- ・ 自局がデジタル簡易無線を送信している時に、受信中の信号が途切れたり、受信できなかつたりする。
- ・ 近くの他局が、自局が受信中とは異なるデジタル消防無線やデジタル簡易無線で通信している時に、自局の受信信号が途切れる。
- ・ 使用しているアンテナが 260MHz 帯デジタル消防無線や 350MHz 帯デジタル簡易無線のみに同調している時に、アナログ系消防無線や FM 放送受信の性能が悪く感じられる。

■送信出力低下について (DR-XF5CR)

デジタル簡易無線は連続送信等により送信出力が低下することがあります。これは、本機の内部温度が上がると自動的に送信出力を下げる機能によるもので、異常や故障ではありません。温度が下がることで元に戻ります。

■修理について

- ・ 修理依頼は自治体組織の通信機器担当者様を通じて、納入元にご依頼ください。
- ・ 修理用部品の最低保有年数は、製造終了後 9 年です。従って保守・修理対応期間も 9 年となっております。
- ・ 保守や点検の対応期間を超えた場合は、同等品との有償交換や、お買い換えのご案内をさせていただきます。

12

定格

DR-XF5N/CR 共通

■一般仕様

| 機種名 | | DR-XF5N | DR-XF5CR |
|--------------------------|------------------|--|----------|
| 受信周波数 | | 260MHz 帯消防救急無線周波数 | |
| 周波数ステップ | | 6.25KHz | |
| アクセス方法 | | SCPC | |
| 無線変調方式 | | $\pi/4$ シフト QPSK | |
| 変調伝送速度 | | 9.6kbps | |
| 音声符号化速度 | | 6.4kbps | |
| 受信内容 | | 音声/ショートメッセージ/データ | |
| 空中線インピーダンス | | 50 Ω 不平衡 | |
| 受信回路 | | ダイバーシチ対応 | |
| 電源電圧 | 外部電源駆動 | 12 ~ 24V | 12 ~ 16V |
| | 電池駆動 (単三形) | 7.2V (ニッケル水素充電電池 *6) 9.0V (アルカリ乾電池 *6) | |
| 消費電流 | デジタル簡易無線 未使用時 | 待受時 : 250mA 以下 受信最大出力時 : 500mA 以下 | |
| | デジタル簡易無線 使用時 | 待受時 : 350mA 以下 受信最大出力時 : 1A 以下 送信 5W 出力時 : 2.5A 位下 | |
| アンテナコネクタ | | 50 Ω 不平衡 M 型 \times 2 | |
| | | 50 Ω 不平衡 SMA 型 | |
| 電源入力端子 | | オス側+端子 (赤) / メス側-端子 (黒) | |
| データ通信端子 / イヤホン端子 (兼用) | | Φ 3.5 ステレオジャック (PC 接続ケーブル ERW - 7 専用) | |
| セキュリティ端子 | | Φ 2.5 ステレオジャック | |
| 外部スピーカー端子 | | 弱電端子盤 | |
| 外形寸法 | | H 50mm \times W 172mm \times D 162mm (突起物含まず) | |
| 質量 | | 900g 以下 | 1200g 以下 |
| 温度範囲 | 性能保証 | - 10°C ~ 50°C | |
| | 動作保証 | - 20°C ~ 60°C | |
| 湿度範囲 | | 95% 以下 (35°C) | |
| 防水性 | | IPX2 (防滴 II 形) | |
| 対環境性 | | RoHS 適合 | |

■電気的特性

| 機種名 | | DR-XF5N | DR-XF5CR |
|--------------|---------------------------------------|-----------------|----------|
| 受信方式 | | ダブルスーパーヘテロダイン方式 | |
| 中間周波数 | 第一 | 21.7MHz | |
| | 第二 | 455KHz | |
| 受信感度 | スタティック (BER=1 × 10 ⁻²) | 0dBμV EMF 以下 | |
| | フェージング (BER=3 × 10 ⁻²) | 5dBμV EMF 以下 | |
| スプリアスレスポンス | | 53dB 以上 | |
| 隣接チャンネル選択度 | | 42dB 以上 | |
| 相互変調特性 | | 53dB 以上 | |
| 副次発射強度 | | 4nW 以下 | |
| 筐体輻射 | 1GHz 以下 | 4nW 以下 | |
| | 1 ~ 3GHz | 20nW 以下 | |
| 音声出力 (音量最大時) | | 2W 以上 | |

■特定小電力無線 (12.5kHz ステップ)

| | | |
|-----|---------------|--|
| 周波数 | レジャー チャンネル | 421.8125 ~ 421.9125MHz 422.2000 ~ 422.3000MHz |
| | ビジネス チャンネル | 421.5750 ~ 421.7875MHz 422.0500 ~ 422.1750MHz |

■トーンスケルチ周波数一覧

| 番号 | 周波数 | 番号 | 周波数 | 番号 | 周波数 | 番号 | 周波数 |
|----|---------|----|---------|----|---------|----|---------|
| 1 | 67.0Hz | 16 | 114.8Hz | 31 | 192.8Hz | 46 | 196.6Hz |
| 2 | 71.9Hz | 17 | 118.8Hz | 32 | 203.5Hz | 47 | 199.5Hz |
| 3 | 74.4Hz | 18 | 123.0Hz | 33 | 210.7Hz | 48 | 206.5Hz |
| 4 | 77.0Hz | 19 | 127.3Hz | 34 | 218.1Hz | 49 | 229.1Hz |
| 5 | 79.7Hz | 20 | 131.8Hz | 35 | 225.7Hz | 50 | 254.1Hz |
| 6 | 82.5Hz | 21 | 136.5Hz | 36 | 233.6Hz | | |
| 7 | 85.4Hz | 22 | 141.3Hz | 37 | 241.8Hz | | |
| 8 | 88.5Hz | 23 | 146.2Hz | 38 | 250.3Hz | | |
| 9 | 91.5Hz | 24 | 151.4Hz | 39 | 69.3Hz | | |
| 10 | 94.8Hz | 25 | 156.7Hz | 40 | 159.8Hz | | |
| 11 | 97.4Hz | 26 | 162.2Hz | 41 | 165.5Hz | | |
| 12 | 100.0Hz | 27 | 167.9Hz | 42 | 171.3Hz | | |
| 13 | 103.5Hz | 28 | 173.8Hz | 43 | 177.3Hz | | |
| 14 | 107.2Hz | 29 | 179.9Hz | 44 | 183.5Hz | | |
| 15 | 110.9Hz | 30 | 186.2Hz | 45 | 189.9Hz | | |

DR-XF5CR

デジタル簡易無線ユニット内蔵 (XE1100)

AMBE 方式

無線局種別コード：3R（登録局）

■デジタル簡易無線登録局ユニット (XE1100)

| | | |
|------------|-----------|--|
| 送受信周波数 | | 351.20000MHz ~ 351.38125MHz (30ch) |
| 電波型式 | | F1C F1D F1E F1F |
| 変調方式 | | 4 値 FSK |
| 周波数偏差 | | ± 1.5ppm |
| 空中線インピーダンス | | 50 Ω 不平衡 SMA 型 |
| 送信部 | 送信出力 | 5W/ 2W/ 1W (偏差：+ 20%, - 50%) |
| | 占有周波数帯域幅 | 5.8kHz以下 |
| | 最大周波数遷移 | ± 1324kHz以内 |
| | スプリアス発射強度 | 2.5 μW以下 |
| 受信部 | 受信方式 | ダブルスーパーヘテロダイン |
| | 受信感度 | - 2dBμV EMF 以下 (BER 1 × 10 ⁻²) |
| | 低周波出力 | 700mW以上 (音声は付属スピーカーマイクから) |

■スピーカーマイク (EMS-500)

| | | |
|-------------|---------|---|
| スピーカー 定格 | 種類 | ダイナミックスピーカー |
| | 定格出力 | 1W |
| | インピーダンス | 8 Ω |
| マイク定格 | 種類 | コンデンサマイク |
| | インピーダンス | 2.2k Ω (max) |
| | 出力感度 | - 46dB ± 2dB (1kHz 0dB=1V/Pa) |
| プラグ | | Φ 3.5、4 極プラグ |
| 外部イヤホンジャック | | Φ 3.5 ステレオジャック |
| 重量 | | 200g以下 |
| 外形寸法 | | H 86mm × W 67.5mm × D 27.75mm (突起物含まず) |

- アルインコの社名とロゴは国内外で商標として登録されています。
- 本書の説明用イラストは、実物とは状態や形状が異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。乱丁・落丁はお取り替え致します。

製造元：

アルインコ株式会社 電子事業部

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
大阪支店 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコービル2階 TEL.092-473-8034

- *使用方法、保守・点検などアフターサービスに関するお問い合わせは、まず、本製品を管理される自治体組織の通信機器担当者様にご相談ください。弊社営業所にお電話頂いても、納入時の設定や保守契約の内容など、すぐに分かりかねることがあるためです。ご理解の程、お願い致します。
- *管理上大きな支障を来しますので、全ての銘板、ラベル類は絶対に剥がしたり、貼り替えたり、意図的に汚したり、印字を消したりしないでください。
- *製造番号が読めなくなる位置に、ステッカーやラベル類を貼り付けしないでください。修理の際に支障が有れば、サービスセンターで破棄します。

販売元：

PS0813A
FNEH-NF